



北海道コカ・コーラボトリング様より寄附 クリスマスプレゼントを福祉施設へ

12月12日、北海道コカ・コーラボトリング株式会社様より日高町の福祉施設へ、クリスマスプレゼントとして、同社製品の清涼飲料水20ケース(480本)が寄附され、同社リテール事業部苫小牧事業所の谷藤秀次所長から町長へ目録が手渡されました。

同社は、昭和43年から毎年道内各市町村の福祉施設へクリスマスプレゼントとして清涼飲料水等を寄附しており、今年の寄附本数を含めると248万本を超えております。

いただいた清涼飲料水は、すべて町内の保育所に配られました。



新技術・新製品開発賞食品部門で奨励賞を受賞 中村商事が開発「宗ちゃんの骨抜き干しカレー」

北海道が募集した「新技術・新製品開発賞」の食品部門で、(有)中村商事(中村正晴社長)が開発したソウハチカレーの一夜干し真空パック「宗ちゃんの骨抜き干しカレー」が奨励賞を受賞しました。

この賞は技術開発の促進を目的として始まり、今年で15年目を迎えましたが、奨励賞の受賞は日高管内では初となりました。

中村社長は、「賞に恥じないよう新たな商品開発にも取り組みたい」と話していました。

受賞後は更に評判が高まり、注文や問い合わせが相次いでいます。



草光花純さん(門別小3年)が優秀賞受賞 緑化活動啓発作品コンクール・ポスター部門

平成23年度緑化活動啓発作品コンクール(北海道森と緑の会主催)のポスター部門で、草光花純さん(門別小3年)の作品が優秀賞に選ばれ、12月14日に同校校長室で表彰状の伝達式が行われました。

このコンクールは、作文、標語、ポスターの部門に分けられ、全道31校から335点の応募がありました。ポスター部門では、草光さんの作品を含めて120点の中で優秀賞3点が選ばれました。

草光さんは「絵を描くのが好き。うれしいです」と話していました。



日高町和牛生産改良組合が全国10位 認定和牛改良組合表彰で2年連続

日高町和牛生産改良組合(春木正友組合長)は、先に開催された平成23年度認定和牛改良組合表彰分娩間隔実績値の部において全国10位に入賞し、表彰されました。

この表彰は、(社)全国和牛登録協会により算出された平均分娩間隔が上位の組合に贈られるもので、全国447組合のうち、今年度は道内で4組合、うち3つが日高管内の組合でした。

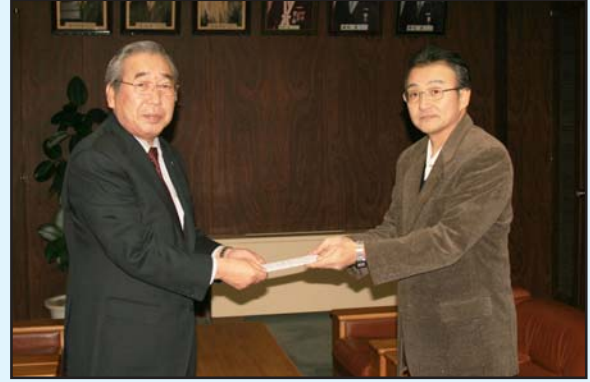
同組合の平均分娩間隔は390.50日という結果で、2年連続2回目の受賞となりました。



NPO法人沙流川愛クラブ主催による事業 沙流川と共生する街づくり講演会開催

12月13日、NPO法人沙流川愛クラブ主催による講演会「沙流川と共生する街づくり」が富川公会堂で開催され、同会会員や町民など、大勢の方が来場しました。

講演は北海道大学農学研究院の小池孝良教授により「森林美学の源・沙流川源流への期待」と題して行われた他、苫小牧河川事務所の田中史雄副所長から「平成23年北海道に於ける洪水等の状況について」と題した報告が行われました。



徳田基様(厚賀町)が町に20万円を寄附 日高町の青少年育成のために役立てて

12月12日、徳田基様(厚賀町)は町長室を訪れ、厚賀・富川青少年連絡協議会寄附金として、町に20万円を寄附されました。

徳田様は「先日亡くなった父の意志でもあり、青少年の育成を後押ししたい。子ども達のために役立てていただきたい」と話していました。



日高国際スキー場が今年度の営業を開始 あかりフェスティバルも開催！

12月23日、日高国際スキー場の営業が開始され、同時にスキー場オープン&クリスマスイベントとして「あかりフェスティバル」が開催されました。オープンに向けて当日まで整備が重ねられたコースは絶好のコンディションで初日を迎え、11時のオープンセレモニーでは工藤副町長がリフトの稼働ボタンを押すと、待ちわびたスキーヤーらが、早速リフトに乗り込み、初滑りの感触を楽しんでいました。

あかりフェスティバルでは、町長と保育所園児代表によるイルミネーション点灯式や、たいまつパレード、サンタさんから子ども達へのプレゼントが贈られるなど、楽しい催しが行われました。



小西洋子さん北海道社会貢献賞を受賞 社会福祉事業進展への貢献讃え

小西洋子さん(宮下町)が、知事表彰である北海道社会貢献賞(社会事業関係功労者)を受賞され、12月19日、日高総合支所副町長室にて工藤副町長より表彰状と記念品が手渡されました。

小西さんは、昭和57年3月から現在に至るまで、日高町社会福祉協議会の副会長、理事等を勤められ、社会福祉事業の進展に貢献いただきました。その他、日高管内婦人団体連絡協議会長や日高町教育委員としての経歴もあり、長きにわたり町のためにご尽力いただいております。